

わたしから始める、世界が変わる

Hunger Zero News

2021. No.369 4
ハンガーゼロ・ニュース



コロナ禍での試練や不安は続きますが
折り信じて互いに助け合っていきたいです

写真:国内避難民を支援をするFH緊急支援チーム(エチオピア・ティグレ州)

「エチオピア緊急募金」開始 P.8

Contents

Hunger Zero 活動報告 コンゴ民主共和国 HOLC の取り組み	P.2-3
ウイズコロナ特集	
ハンガーゼロ親善大使②	P.4-6
出前授業 愛知事務所の取り組み	P.7

1分間に17人(内12人が子ども)
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています



報告・ジェローム・カセバ HOLC 代表

プウェトでの取り組みを地方政府も後押し

内戦の影響で見捨てられていたプウェト

広域行政区プウェトは、コンゴ民主共和国南東部の上カタンガ州にあり、3首長区(ムウェンゲ、キオナ・ンジニ、プウェト)と1行政区(ムウェロ)に分かれています。2010年の人口調査によると、プウェト首長区の人口は24,767人。

1998年に政府軍と反政府ゲリラとの間で紛争が勃発して以来、10年以上に亘って、政府も民間セクターもプウェトにはほとんど投資をして来なかったために、近隣の村から逃げて来た多くの国内避難民を含む、多数の人々が影響を受けています。国内避難民は、かつてそれぞれの避難先の家庭の世話になりながら、劣悪な住環境の中、マラリアや腸チフス、下痢などの感染症の脅威に絶えずさらされて暮らしていました。

州政府の人的・経済的資源、治療機器の不足によって公共医療は機能していません。医療だけでなく、清潔な水、食料、教育のような基本的な必要を満たすことは、特にプウェトのような地方の、しかも紛争の爪痕の残る地域では大変困難です。

そのために複数の国際NGOがローカルNGOとパートナーシップを結び、そのような状況に介入してプウェトにおける基本的な必要を満たすためのサービスの提供を肩代わりするようになりました。

現在、プウェトでは、ローカルNGOと協働する国際NGOが、特にへき地において活動し、貧困に苦しむ人々に保健衛生、教育、トレーニング、農業支援などを提供しています。

NGOはプウェトのみならずコンゴ民主共和国内の他の州でも開発に大きく貢献しているのです。

しかしながら、NGOの貢献にも関わらず、地方政府とNGOの間で認可された協働の実績はないのが実情です。中央政府は何年にも亘って、NGOはコンゴ民主共和国と現政権のイメージを汚し、良くない情報を流すために先進国が送り込んできた「悪」のスパイであると見做してきました。しかし、先の選挙で選出されたコンゴ民主共和国の新大統領が、開発に対して前向きな見解を持っているため、状況はゆっくりですが確かに変わり始めています。開発に対してより建設的になり、地方政府はNGOとの連携を強めつつあります。

新型コロナウイルスの影響で予算が減少し、国際援助が縮小されていく昨今、中央政府は開発の成果と持続可能性を上げることに力を注ぐようになり、国内のローカルNGOや組合、協会などと協働関係を構築する地方政府が増加してきています。

プウェトでNGOとの協働が始まる

NGOと政府双方が、それぞれの目標と利害にこだわりすぎると相乗効果を生むことができませんが、共に同じ方向を向いて協力しあえば、互いの限界を超えてコミュニティが持続可能な開発に向かって努力していく後押しができるようになります。

広域行政区プウェトの地方政府、ローカルNGO、国際NGOの間に、長期に亘る強い関係を築くため、プウェトの



コロナ感染から守る「緊急救援募金」に応援をお願いします

募金は、郵便振替又はウェブサイトからクレジットカード決済が利用できます。
 ウェブサイト <https://www.jifh.org> ※ハンガーゼロで検索又は右QRコードから
 郵便振替 00170-9-68590 日本国際飢餓対策機構 ※記入欄に「緊急救援募金」と明記
 募金集計：2021年3月6日現在で約945万円、皆さまの応援を心より感謝いたします。



スマホから募金ページに



プウエトの地方政府とローカル NGO の合同会議

ローカル NGO の合同技術委員会と地方政府は 2020 年 2 月に「より効果的な協働のために」というテーマを掲げて会議 (HOLC も参加) を行いました。ワークショップの主目的は、プウエトにおいて NGO と地方政府の間で情報・知識の共有と関係の改善・強化が図られることでした。会議は成功に終わり、2020 年末にすべての参加者が再び集まって具体的な進め方を話し合い、その結果、プウエトの地方政府は 4 つの NGO を選出し、2021 年 1 月から、それぞれの専門分野において政府と協働することになりました。

「他の地域にも変革を広めて」との要望

HOLC は、それまでの 6 年間支援コミュニティで行ってきた「マインドセット (固定観念) の変革 / VOC」が評価されてその 1 つに選ばれました。プウエトの最高権威であるルンブウェ・カンガニョカ長官 (写真④) は HOLC プウエト担当パメラ氏は、プウエトの他の行政区にも同じ変革を広めて欲しいと、HOLC にキオナ・ンジニ、ムウェンゲ、モエロのコミュニティにおいてマインドセット (固定観念) の変革トレーニングのファシリテーターの役割を担うように要請しました。長官は、6 つのコミュニティで起きていることが広域行政区プウエトの他の首長区にも広がっていくことを願っているのです。

「プウエトの地域住民に何が起きているのかを、私はこの目で見た。そして、それがプウエト首長区外にも広がっていくのを見たい。」というのが長官の言葉です。プウエトで目撃した住民たちの自立した姿を、自分が管轄する広域行政



区の他の地域の住民たちにも身に付けてほしいと願う長官は「固定観念の変革のためのトレーニングこそが鍵となる」と語りました。

この協働において、地方政府はトレーニング期間中の交通費と宿泊費、村から村への移動手段を提供することになりました。1 月 18 ~ 24 日の間、HOLC のパメラ氏と 2 人の住民リーダーはモエロ行政区のキルワに滞在し、地域住民を対象に 5 日間のトレーニングを実施しました。キルワはプウエトから 137 km 離れた人口約 6,000 人の村で、住民は主に漁業で生計を立てている所です。

小さく始めた働きが広がった!

今回の地方政府との協働によって、地域住民が自分たちの将来を自分たちの手で変えていくことができるようになると思っています。私たちが小さく始めた働きがこのように広



がり、コンゴ民主共和国の多くの人々の命と暮らしに前向きな影響を与えているのを見ることができ、とても嬉しく今後に期待をしています。

私たちが過去 6 年間に亘ってプウエトの地域住民と共に取り組んできたことを、地方政府が認め協働に踏み切ったことで、近い将来、人々の暮らしを一変させるようになるかもしれません。これからコンゴ民主共和国の他の地域や村でも協働し、自分たちのコミュニティを変革する役割を担っていく地域リーダーが更に多く育成されるのを楽しみにしています。

サポーターを募集しています!

コンゴでの活動のご支援は「ハンガーゼロサポーター」、又ジェローム・カセバのご支援は「海外スタッフサポーター」となって応援していただけます。



ロングライフタウン寝屋川公園 フィレンツェの丘

私たちロングライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロングライフは 1986 年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。



Health & Natural Beauty

ロングライフグループ



0120-550-294

受付時間
9:00~18:00
年中無休

大阪本社 / 〒530-0015 大阪市北区中崎西 2-4-12 梅田センタービル 25 階 東京本社 / 〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 9 階
ロングライフグループ拠点: 北海道 / 埼玉 / 東京 / 神奈川 / 千葉 / 静岡 / 愛知 / 大阪 / 兵庫 / 京都 / 大分 / 沖縄 / 中国 (青島) / 韓国 / インドネシア (ジャカルタ)

QRコードから公式ホームページやfacebookに入れます



自宅にスタジオを設置して挑戦

ソン・ソルナムさん (フルート奏者)

私は韓流ドラマ、ホジュン、イサン、トンイのタイトル曲演奏を通して日本全地域で演奏していました。2011年の東日本大震災の現場には韓国の支援物資を渡すために入り、避難所をはじめ震災地域を76回以上訪問して演奏をさせていただきました。その後家族と5年間奈良県に住みながらハンガーゼロの親善大使として演奏活動をしていましたが、心臓の病の治療のため帰国しています。

コロナ以前は日本へ毎週行き来をしていましたが今はそれも出来なくなりました。他の国へも行けなくなり、韓国でも対面でのコンサートはほとんど不可能な状態になりました。絶望的な状況の中、新たなチャレンジとして自宅に映像スタジオを作りコンサートの要請があるところに動画を送る作業をしています。昨年からは私のユーチューブチャンネルを作り、私が制作しているホイスルを無料で教える映像と演奏映像をアップしています。

私は最近初めてデジタルシングルアルバムをリリースしました。今までアルバムと言えばCDでしたが、今はネット音源サイトにアップして販売をしています。日本でもiPhoneで音源を買うことが出来ますし、私のユーチューブチャンネルでは無料で聞くことが出来ます。私のフェイスブックIDは Song Solnamoo です。ユーチューブチャンネルも同じです。

今はユーチューブやフェイスブックを通してしか皆さんにお会いすることはできませんが、コロナが収束し、ワクチンを受け、日本で皆さんの顔を見ながら演奏できる日を待ち望んでいます。その時まで皆さん健康で、幸せにお過ごしください。



YouTube「Song Solnamoo」で検索又はQRコード
Facebook <https://www.facebook.com/solnamoo.song>



地元民放局から希望の光を

ナイト de ライトさん (ロックバンド)

「2020年は12ヵ月連続CDリリースをしよう」とナイト de ライト全員でビジョンを握った2019年夏。まさかその後、結成して15年の歴史上最もライブできない年が来るなんて微塵にも考えていませんでした。毎年70回以上飛行機に乗って全国を巡ってきた私たちですが、ライブはことごとくキャンセル。しかし、私たちは過去3年に渡るZepp東京、大阪、札幌を埋めるライブツアー中心の年を経て、毎月3曲入りのCDを作るという制作中心の年に踏み切っていました。

精神的にも、経済的にもコロナ禍の大打撃を受けつつも「今年何をするのか」というビジョンにおいては確固たる指針を握って走ることができました。1年で36曲の新曲を生み出すことができたのは、同じコロナ禍にあっても私たちが歌う希望を応援し続けてくださった皆様がいたからです。

そして明けた2021年、私たちは未だライブで希望を届けられない現状にあらがって、無謀にも新しいチャレンジに出ることを決めました。北海道民なら誰もが知っているテレビ局、ラジオ局でレギュラー番組を始めたい。とんでもない費用がかかります。それでも明日を生きる希望を歌い続けたい。暗闇に光を届けたい。その一点で最後まであがいていく覚悟です。2021年ナイト de ライトは民放で希望を届けます！応援宜しくお願いします。



YouTube「ナイト de ライト」で検索又はQRコード
ナイト de ライトを支える限定コミュニティ
「ナイライフファミリー」への加入は下記サイトから
<https://night-de-light.com/pay.html>



どんな時にも賛美を届けたい

紫園 香さん(フルート奏者)

昨年2月23日以降全てが止まりました。キャンセル公演100近く。一昨年アメリカ公演でオファーがついたカーネギーホールリサイタルも延期です。四方壁に囲まれ何も動きません。なす術もなく上を見上げると、そこには思いがけず青空が広がっていました。

静かに考えました。まず体を休めました。それまで世界中、欧米はもとより、遠いところではブラジルやケニアなど地球の反対側までコンサートツアーが続き、思ったより疲労が溜まっていたからです。経済は大変なもの、心身霊、充分エネルギーチャージができ、9月にCD「Calling」(13枚目)を録音。11月CD発売記念コンサート(太平洋放送協会「ライフライン」で放送予定)を開催。クリスマスにはプロスタッフとチームを組んで動画撮影に乗り出し、YouTubeチャンネルも随分充実。雑誌「婦人之友」に執筆。今年4月19日東京文化会館(上野)でリサイタル、7月22日は明日館(フランクロイドライト建築・重要文化財)で記念コンサート、9月19日HAKUJUホールで客演、etc. また動画撮影が1カ月に1回予定されています。後進の指導も今のところオンラインが多いですが、無事継続されており感謝です。私のCalling(使命)は、音楽を通して世界中の皆様へ愛と希望をお伝えすることですから、倦まず弛まず^う、どのような状況下でもできることを喜んで、感謝しつつ捧げていこうと願っています。映像提供の奉仕もいつでも可能です。ご遠慮なくお申し付け下さい。



YouTube「紫園香」で検索又はQRコード
 紫園香公式サイト <https://sionkaori.com>
 Facebook「紫園香」で検索

※ 倦まず弛まずとは…飽きたり、気を緩めたりしない(大和言葉)

ハンガーゼロ親善大使



森 祐理
福音歌手



上原 令子
ゴスペル歌手



小堀 英郎
ピアニスト

ハンガーゼロ親善大使及び
 沖縄アンバサダーとのチャリ
 ティ企画等(オンラインも含
 む)のご相談は、東京事務所
Tel:03(3518)0781 まで



ツムラ ナオマサ
フルート奏者



Manami
シンガー



紫園 香
フルート奏者



ナイトdeライト
ロックバンド

沖縄アンバサダー



前田 進一郎
唐楽家



Saki
ゴスペルシンガー
ソングライター



イエス・キリスト エクレスシア よろこび研究会

真理はあなたを自由にします。ヨハネ福音書8章32節
 — この御言葉を中心として「よろこび」を学んでいます —



真理のこぼれで“よろこび”
 をお届けしています。
 ① 聖書、みことばをわかりやすく
 ② 日常生活に適用できるように
 ③ より実践的に

毎月新たな聖書箇所を読み、お一人お一人の状況に照らしてメッセージをしていきます。初めての方でも大丈夫です。共に学び、よろこびを探求しましょう。

メッセージ: 奥田英男 【参加自由・無料・席上献金有り】



<http://yorokobi-lab.com/>

Info@yorokobi-lab.com 042(553)0511(オウダ建設内)

※「協賛広告」を募集しています。ウェブにも掲載。詳しくは東京事務所・近藤まで



あの村の人々に思いを馳せる

前田進一郎さん (音楽家)

いつも世界の困っておられる方々への温かなご理解とご支援を心より感謝申し上げます。私は現在オペラ歌手として活動させて頂いておりますが、このコロナ禍で多くのオペラやコンサートがキャンセルとなってしまいました。

昨年秋、久しぶりに出演させて頂いたオペラで (出演者、関係者全員が PCR 検査を受けさせられ、全員が陰性)、幕が開きそして幕が閉じるという当たり前のあの光景があまりにも感動的でした。

今日も食べることに困っておられる方々のことを覚える時に、また、2019年に視察で行かせて頂きましたフィリピンのアルサビ村の方々を思い出す時に、イタリア留学中、あまりにもお金がなく何度も断食せざるを得ない状況の事を思い出します。

「チャリティーコンサートは音楽家の使命」個人的にはこう強く感じております。有名でもない一人のオペラ歌手ではありますが、コロナが収束したあかつきには、たくさんのチャリティーコンサートで歌いたいと思います。

みな様がいつも健やかに、元気に過ごせますよう、そして世界の困っておられる方々も今日を幸せに生きていけますように、心よりお祈りいたします。



ハンズ・オブ・ラブ・フィリピンの活動地の一つアルサビ村にて



子どもたちと向き合いながら

Sakiさん (ゴスペルシンガー)

コロナ禍にあって新しいチャレンジをなさっているハンガーゼロの関係者並びに、支援し続けてくださっているサポーターの皆さま、尊いお働きを感謝いたします。

2020年初旬に海外支援地への訪問を予定していましたが、突如コロナウイルスの蔓延により中止となりました。あつという間に生活が変わってしまったことに驚いています。

アンバサダーとして関わるようになった当初、「貧困家庭のこどもの教育に携わり、彼らの負の連鎖を断ち切りたい」と強く思っていました。日本においては、豊かな教育を受けられる一方で、自分の存在を過小評価してしまう空気感が否めません。物心両面の支援を志しているハンガーゼロの愛の働きを目指し、現在、障害のある子どもたちと音楽療法を通して関わっています。ハンディキャップを持っている彼らは「いのちの輝き」で満たされています。「ひとり」に対して愛の手を差し伸べる、仕えること、ともに時間を過ごすことはどれほど尊いことかと思われている毎日です。

イベントなどの中止によりシンガーとしての働きは皆無ですが、個人的に神様をほめたたえるために歌を用いることができること、こどもたちと1対1で向き合えることは、非常に恵み深いものです。

CD購入はこちら ▶ <https://saki-official.webnode.jp/>



YouTube 「GospelSinger Saki」で検索又はQRコード

Instagram @saki.hv

Facebook <https://www.facebook.com/saki.teruya>

出前授業

愛知事務所の取り組み

愛知事務所では、生徒さんが事務所に来てくださる1日インターンシップや、スタッフが学校で講演やワークショップを行う出前授業を通して、幼稚園から大学まで幅広い年代の方々に世界の現状、SDGs、活動地での取り組みなど国際協力についてお話をさせて頂いています。その中から最近行った出前授業の事例をご紹介します。

1つは2021年1月15日に津島市立天王中学校で2年生約160名を対象

に行った出前授業です。実はこの授業は世界食料デー名古屋大会に合わせて昨年10月に行う予定でした。(特活)愛知・みらいフォーラムならびに津島市国際交流協会のご協力を得て、この学校での講演が決まっていたのですが、コロナの影響で海外ゲストの来日も大会も中止となり、延期されていました。

ジェローム代表がコンゴの現状を語る

今年日程を調整し、日本在住のコンゴ民主共和国のパートナー団体ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ(HOLC)のジェローム・カセバ代表が海外ゲストに代わり、授業に伺うことになりました。当日は、世界の現状やコンゴ民主共和国での



欲しい」「子どもたちには将来、海外に出て活躍して欲しい。そのためのキャリア教育としても捉えている」と先生の熱い思いが伝わってきました。その思いに応えようと内容をあれこれ考えて臨みました。マンガを使ったワークが生徒の皆さんには好評で、楽しく学んでくださり、「世界のために何かしたい」という思いを持ってくださったようです。

生徒が発案して繋がるプロジェクト

その後、それまで以上に給食の残菜ゼロや節水に取り組まれ、また「繋がるプロジェクト」を立ち上げて、出前授業で紹介した本やハブラシのリサイクルによる募金に協力してくださいました。ポスターや回収ボックスを手作りし、校内だけでなく、市立図書館などにも設置して集めてくださいました。大小合わせて約30箱に詰められた1000本以上のハブラシ、500以上の本やCDなどを、先生が事務所に届けてくださいました。「これで終わりにはしない。これからは苦しんでいる世界の人たちのためにできることをしていく」と語る生徒さんもいたとの先生の言葉に「わたしから始める、世界が変わる」のメッセージが伝わっていることを知り、希望をもちました。

天王中学校、西小学校、どちらもたった1日の出前授業でしたが、生徒の皆さんが世界の現状を知り、自分と世界の繋がりに気づき、自分にできることを考えた体験が、「世界の中の日本」「世界と共に生きているわたし」という視点を持つことにつながり、よりよい世界を作っていくきっかけになればと願っております。



課題解決のための取り組み、コロナの影響などをクイズや動画を用いてお話させて頂きました。生徒の皆さんは楽しくクイズに参加、関心を持って話を聞いてくださいました。

マンガを使って楽しくワークショップ

昨年11月9日に同じ津島市の市立西小学校でも6年生約80名に出前授業を行いました。これは先生が当団体のホームページから問い合わせくださり実現しました。「飢餓について世界の現状を知り、それについて何ができるかを考える機会にしたい」「体験型のワークショップを入れて

備蓄をしながら社会貢献



世界にパンを届けよう

救岳鳥
Kyu-Can-Cho

皆様から回収された救岳鳥は各地に飛んでいきました!



食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。



おいさと夢をお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰
since 1995

〒329-3147
栃木県那須塩原市東小屋295-4
TEL 0287-65-3351

パン・アキモト 検索



ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓蒙を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18ヵ国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころからだの飢餓」に応える活動をしています。

エチオピア緊急募金にご協力ください!!

内戦から逃れてきた国内避難民を支援



エチオピア北部のティグレ州では、2020年11月に発生した政府軍とティグレ人民解放軍による内戦が激化し、安全を求めて国内避難民となった人々があとを絶たない状況です。シレの町だけで30万人以上が到着しており、そのうちの65%が女性と子どもです。食料、水、はもとより最低限の日用品、新型コロナ感染予防用品など何もかもが不足しています。17万人以上が登録されている避難

所に使えるトイレもたった4つという状態です。ハンガーゼロは現地パートナーのFHエチオピアを通して、人道的危機に瀕している方々への緊急支援を行います。皆さまのご協力をお願いいたします。

緊急募金は、郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構「エチオピア緊急援助」と明記。

またウェブサイトからクレジットカードを使っての募金もできます。



ボリビア刺しゅうのポーチ

小西小百合スタッフの活動地から届いたポーチです。デザインは1点ごとに異なります。

サイズ: 縦 100mm 横 125mm

- ①黒 ②赤 ③緑 ④灰 ⑤橙 ⑥茶
⑦薄茶 ⑧紫 ⑨濃紺 ⑩赤茶

ご希望の色を番号で指定下さい。1つ1,100円 + 送料180円、合計1,280円でポストにお届けします。(注)3つ以上の送料は申込時にお問い合わせください。

数に限りがありますのでご希望に添えない際は、ご容赦願います。



【お支払い】後払い
お申し込み: (株)キングダムビジネス
スマートフォンは上記QRコードから
電話注文: 06-6755-4877
FAX 注文: 06-6755-4888

※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。



ハンガーゼロのLINEを開設!!

より幅広く多くの方々に情報をお届けできるように、ハンガーゼロのLINEを新たに開設しました。

見逃せないイベント情報や、世界の状況などをわかりやすく発信していきますので、是非お友だち登録よろしくお祈りします!

拡散・シェアもどんどんしていただけますと嬉しいです。

ご登録は右のQRコードまたはIDから @hungerzero で検索。



サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

氏名	
(TEL)	
住所	〒
申込日	年 月 日 NL 369号

<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月 () 円 (1 1,000円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFH サポーター)として協力します。 毎月 () 円 (1 500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月 4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落とし申込書を送って下さい。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落とし申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在...50070

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>
eメールアドレス general@jifh.org
フェイスブック facebook でハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1
TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCCビル 517号室
TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3 YWCAビル 6F
TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132
沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メソソク米 202号
TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL (510)568-4939 FAX (510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター

●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに1,080,125ポイント(円)のご協力(11,361件)がありました。Tポイント募金で検索。
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。